

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 26 年 8 月 7 日 (2014.8.7)

【公開番号】特開 2012-147811 (P2012-147811A)

【公開日】平成 24 年 8 月 9 日 (2012.8.9)

【年通号数】公開・登録公報 2012-031

【出願番号】特願 2011-6473 (P2011-6473)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 6 月 19 日 (2014.6.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数種類の識別情報の可変表示を行い表示結果を導出表示する可変表示手段を備え、所定の移行条件が成立した後に遊技者にとって通常状態よりも有利な特別遊技状態に制御可能な遊技機であって、

前記特別遊技状態の終了条件となる可変表示の回数を、第 1 の回数と、当該第 1 の回数より多い第 2 の回数と、を含む複数種類から決定する終了条件決定手段と、

前記終了条件決定手段の決定結果に基づいて、前記第 1 の回数または第 2 の回数の可変表示が実行されたときに、前記特別遊技状態を終了させて前記通常状態に制御する状態制御手段と、

前記終了条件決定手段により前記第 2 の回数と決定された場合、前記第 1 の回数となる以前の可変表示において、前記特別遊技状態が継続することを報知する継続報知演出を実行する継続報知演出実行手段と、

前記継続報知演出が実行され得る所定期間となるより前の可変表示において、前記継続報知演出に関連した演出を実行する演出実行手段と、

前記可変表示手段において所定のリーチを実行するリーチ表示手段と、

前記リーチ表示手段によりリーチが実行される場合に、前記継続報知演出の実行を制限する継続報知演出制限手段と、

を備えることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

上記目的を達成するため、本発明の遊技機は、

(1) 複数種類の識別情報(例えば特別図柄や飾り図柄など)の可変表示を行い表示結果を導出表示する可変表示手段(例えば第 1 及び第 2 特別図柄表示装置 4 A、4 B や画像表示装置 5 など)を備え、所定の移行条件が成立した後に遊技者にとって通常状態よりも有

利な特別遊技状態（例えば時短状態や確変状態など）に制御可能な遊技機（例えばパチンコ遊技機１など）であって、前記特別遊技状態の終了条件となる可変表示の回数を、第１の回数（例えば５０回など）と、当該第１の回数より多い第２の回数（例えば１００回など）と、を含む複数種類から決定する終了条件決定手段（例えばＣＰＵ１０３がステップＳ２４３の処理を実行する部分など）と、前記終了条件決定手段の決定結果に基づいて、前記第１の回数または第２の回数の可変表示が実行されたときに、前記特別遊技状態を終了させて前記通常状態に制御する状態制御手段（例えば演出制御用ＣＰＵ１２０がステップＳ８５４、Ｓ８５８、Ｓ８５９の処理を実行する部分など）と、前記終了条件決定手段により前記第２の回数と決定された場合、前記第１の回数となる以前の可変表示において（例えば時短制御が実行されてから４６回目～５０回目あるいは９６回目～１００回目の変動において）、前記特別遊技状態が継続することを報知する継続報知演出を実行する継続報知演出実行手段（例えば演出制御用ＣＰＵ１２０がＳ８１７、Ｓ８３５における決定結果に基づいてＳ６７０～Ｓ６７５の処理を実行する部分など）と、前記継続報知演出が実行され得る所定期間となるより前の可変表示において、前記継続報知演出に関連した演出を実行する演出実行手段（例えば演出制御用ＣＰＵ１２０がＳ８０６、Ｓ８２４における決定結果に基づいてＳ６７６、Ｓ６７７の処理を実行する部分など）と、前記可変表示手段において所定のリーチを実行するリーチ表示手段（例えば演出制御用ＣＰＵ１２０がステップＳ６６４においてリーチを実行する変動パターンである場合にリーチを実行する部分）と、前記リーチ表示手段によりリーチが実行される場合に、前記継続報知演出の実行を制限する継続報知演出制限手段（例えば演出制御用ＣＰＵ１２０がステップＳ６７４においてＹｅｓと判定された場合にステップＳ６７５の処理をスキップする部分）と、を備えることを特徴とする。

このような構成によれば、継続報知演出に関連した演出により特別遊技状態が継続するか否かを複数回の可変表示に亘って注目させることができ、継続報知演出に関連した演出を実行した後のいずれかの可変表示において特別遊技状態が継続することが報知されることがあるので、遊技の興趣が向上する。さらに、リーチが実行されるときには継続報知演出が制限されるので、演出の複雑化を避けることができる。